

平成22年度子ども虐待防止活動推進委員会の活動報告

ア 推進委員会の開催

- 5月17日 第1回委員会 委員会の取組協議
- 6月28日 第2回委員会 シンポジウム、今後の委員会の取組協議
- 10月 1日 第3回委員会 11月月間の取組協議、各団体の取組情報交換

イ ワーキンググループの開催

- シンポジウムの企画等を行い、推進委員会へ提案した。
- 6月 1日 第1回会議 シンポジウムの内容検討
- 6月14日 第2回会議 シンポジウムの企画案決定
- 7月 2日 第3回会議 チラシ、カード、PR手法の確認等
- 8月 4日 第4回会議 シンポジウムの運営協議
- 9月15日 第5回会議 11月推進月間の取組協議
- 12月 6日 第6回会議 11月推進月間の取組報告等
- 3月18日 第7回会議 平成23年度の取組協議

ウ 啓発活動等

○5月17日 街頭キャンペーン

天神地区4箇所の街頭で市民へティッシュを配布し、相談窓口の周知と福岡市全体で子どもを見守る体制を呼びかけた。

・参加者 約150名（推進委員会参加団体、市職員等）

配布ティッシュ

育児に悩んでいませんか?
近所に心配なお子さんはいませんか?
迷わず下記までご相談下さい。

福岡市子ども虐待防止活動推進委員会

電話相談窓口

こども総合相談センター (えがお館) 24時間受付 (年末年始を除く) 092-833-3000	NPO法人ふくおか・こどもの 虐待防止センター (F・CAP-C) 10:00~14:00 毎週火・水・土曜日 (祝祭日・年末年始を除く) 092-738-7404
--	--

つながろう
子どもの
笑顔のために

子ども虐待のないまちづくりをめざして

のぼり

つながろう
子どもの
笑顔のために

子ども虐待のないまちづくりをめざして

福岡市子ども虐待防止
活動推進委員会

オレンジリボン



オレンジリボンには「こども虐待を防止する」というメッセージがこめられています。

○8月10日 子ども虐待防止シンポジウム

- ・会場 エルガーラホール8F大ホール
- ・参加者 約750名（市民、推進委員会参加団体、市職員等）
- ・内容

基調講演『虐待死した子どもが問いかけるもの』

川崎 二三彦氏（子どもの虹情報研修センター研究部長）

パネルディスカッション『虐待死ゼロのまちをめざして』

パネリスト

- 進藤 静生氏（しんどう小児科医院院長）
- 平田 伸子氏（社団法人 福岡県助産師会会長）
- 蔭山 孝雄氏（福岡子供の家 みずほ乳児院院長）
- 藤村 文彬氏（福岡市民生委員児童委員協議会会長）
- 藤林 武史氏（福岡市こども総合相談センター所長）
- 石井 美栄氏（中央区保健福祉センター所長）

コーディネーター

坂本 雅子氏（特定非営利活動法人 子どもの村福岡副理事長）

呼びかけ（アピール文の朗読）

三宅 玲子氏（特定非営利活動法人チャイルドラインもしもしキモチ事務局長）



○11月児童虐待防止推進月間での取組

①推進委員会参加団体主催の各種事業の実施

推進委員会参加団体が連携し、シンポジウム、街頭キャンペーン、講演会、記録映画上映会など、様々な市民参加型イベントを展開した。

・11.3 シンポジウム「子どもの危機にこころを寄せて」

【チャイルドライン「もしもしキモチ」】

・11.6 啓発イベント【福岡法務局、福岡人権擁護委員協議会】

・11.7 街頭キャンペーン「支えあって子育て」【福岡子どもの虐待防止キャンペーン実行委員会（ふくおか・こどもの虐待防止センター外8団体）】

・11.19 講演会「子ども虐待を考える」

【福岡市各区・市要保護児童支援地域協議会】

・11.21 映画「葦牙（あしかび）」【ふくおか『葦牙』をみる会（子どもNPOセンター福岡等）】

②企業等との連携による取組

推進委員会の活動に賛同いただいた企業と連携し、協力をいただきながら、児童虐待防止を呼びかけた。

・映画とのタイアップ、情報誌への掲載等

③推進委員会参加団体の取組

推進委員会参加団体のメンバー1人ひとりが様々な機会を活用し、カードの配布や、オレンジリボンの着用など、市民への啓発活動に努めるとともに、研修会等の実施による関係者の専門性の強化に努めた。

- ・イベントや関係機関窓口（小児科、幼稚園、保育園、市・区役所等）でのカード『「虐待死ゼロのまち」をめざして』の配布
- ・民生委員児童委員や市職員がオレンジリボンや名札を着用し、呼びかけ
- ・区役所庁舎への横断幕の掲出
- ・福岡市保育協会、福岡県助産師会での研修会の実施 等